

## 「丹後とり貝」の種苗配付

「丹後とり貝」は、当センターで生産した種苗を、漁業者が約一年かけて丁寧に育成したトリガイであり、京のブランド製品のひとつとなっています。

今年度5月から生産を開始した種苗は順調に成育し、漁業者へ配付する時期を迎えました。殻長約1cm以上に成長した種苗は、毎年7月初旬から下旬にかけて、舞鶴湾、宮津湾及び久美浜湾のトリガイ養殖に従事する漁業者へ配付されます。配付にあたっては、トリガイの薄い殻が割れてしまわないよう、全ての工程で細心の注意を払いながら作業します。

今年度は、約54万個の種苗が無事漁業者の手に渡りました。ここからは漁業者の腕の見せ所です。来年春に向け、立派な「丹後とり貝」が育てられることを期待しています。



種苗配付の様子  
(左:種苗の取り上げ、右:選別および計数、右下:選別後の配付種苗)